

令和 4 年度 9月補正予算 主要な事業の説明書

(一般会計)

令和4年 第3回 嬉野市議会定例会提出

【様式1】

令和4年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	庁舎整備関連事業(塩田庁舎等利活用事業)				
総合計画による位置づけ		基本方針	みんなで創る自発のまちづくり				政策分野	⑤財政計画				
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	16	新規	○	継続		

1. 事業の目的・効果

市役所新庁舎の建設に向けて調査・検討を行い、基本計画を策定する。
塩田庁舎の活用に関する基本構想を策定する。

2. 事業内容

オフィス環境整備業務(現状調査、サイン方針等)、CM(コンストラクション・マネジメント)方式を活用し、基本計画を策定する。
塩田庁舎等の利活用に関する検討委員会開催及び基本構想策定業務委託。

3. 全体計画	事業期間	令和4年度	～	令和5年度	事業費(千円)
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容					庁舎整備関連事業
事業費(単位:千円)					24,501
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他(合併振興基金)				21,000
一般財源					3,501

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)
内 容	補助 単独
報酬	86
庁舎建設検討委員会5,700円×5人×3回=85,500円	
【今回追加補正】 715,818円	716
会計年度任用職員119,303円×6月×1人	
【今回追加補正】 256,500円	257
塩田庁舎等利活用検討委員会委員5,700円×15人×3回	
職員手当等	86
【今回追加補正】 85,899円	
会計年度任用職員119,303円×1.2月×0.6	
共済費	136
【今回追加補正】 135,338円	
会計年度任用職員((20,223円×6月)+14,000円)×1人	
旅費	34
普通旅費(職員)1,700円×1.3×15回=33,150円	
費用弁償(委員)3,940円×5人×3回=59,100	60
【今回追加補正】 225,000円	225
75,000円×3人×1回	
【今回追加補正】 35,460円	36
費用弁償(委員)3,940円×3人×3回	
需用費	100
【今回追加補正】 100,000円	
(消耗品費)100,000円	
委託料	17,435
基本計画策定業務・支援業務	
オフィス環境整備業務(現状調査・サイン方針)	3,500
【今回追加補正】 1,830,000円	1,830
塩田庁舎等利活用基本構想1,830,000円	
計	24,501

5. その他参考となる事項

0千円

○ 6月 補正事業費 21,115千円

9月 補正事業費 3,386千円

(補正財源内訳) 合併振興基金	3,000千円
一般財源	386千円

補正後事業費 24,501千円

○ 委託料(継続費)

内容	令和4年度	令和5年度	合計
塩田庁舎等利活用基本構想策定業務	1,830千円	3,670千円	5,500千円

【様式1】

令和4年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	8 情報管理費	事業名	テレワーク等推進事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり			政策分野	④行政計画			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	広報・広聴課		予算書ページ	16	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染者の拡大を受け、職員間の3密を避ける必要があり、テレワーク等推進の基盤を構築する。

2. 事業内容

自宅にテレワーク等の環境がない職員に対し、貸し出し用のPCやポケットWiFiを整備する。

3. 全体計画	事業期間	令和4年度	～	令和4年度	事業費(千円)	6,741
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容					テレワーク等推進事業	
事業費(単位:千円)	補助率					6,741
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	地方創生臨時交付金					6,000
一般財源						741

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内	容	補助 単独
役務費	通信運搬費	165
	貸し出し用ポケットWiFi利用料	
備品購入費	貸し出し用PC 30台 6,105,000円	6,576
	貸し出し用ポケットWiFi 10台 470,800円	
	計	6,741

5. その他参考となる事項

歳入 地方創生臨時交付金(新型コロナウイルス感染症対応) 6,000,000円

歳出

通信運搬費 165,000円
 貸し出し用ポケットWiFi利用料 2,750円×10台×6月=165,000円
 備品購入費
 貸し出し用PC 185,000円×1.1×30台=6,105,000円
 貸し出し用ポケットWiFi 42,800円×1.1×10台=470,800円

【様式1】

令和4年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	16 広報広聴費	事業名	女性が輝くまちづくり推進事業 ～HAPPY TOGETHER PROJECT～				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり			政策分野	④行政計画				
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	広報・広聴課		予算書ページ	17	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

少子高齢化などの影響による人口減に歯止めをかけるべく取り組んでいる女性が輝くまちづくりをさらに加速するため、未来志向型対話イベント等によりまちづくりのあらゆる場面に女性目線を取り入れる取り組み「HAPPY TOGETHER PROJECT」を推進するもの

2. 事業内容

女性目線を積極的にまちづくりに取り入れるために、女子野球をはじめとする女性スポーツアスリートとともに未来志向型の対話の場であるフューチャーセンターを設置し、女性が輝くまちづくりを推進する。

3. 全体計画		事業期間		令和4年度		令和4年度		事業費(千円)		8,000		4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
実施年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		事業内容		内 容		補助 単独	
事業内容								女性が輝くまちづくり推進事業		委託料		女性が輝くまちづくり推進事業業務委託		8,000	
事業費(単位:千円)		補助率						8,000		・フューチャーセンター設置基本構想策定業務					
財源内訳	国庫支出金	50%						4,000		・フューチャーセンター運営補助業務					
	県支出金									・女性が輝くまちづくりプロモーション					
	市債														
	ふるさと応援寄附金														
	その他														
一般財源								4,000		計		8,000			

5. その他参考となる事項

・フューチャーセンター

ヨーロッパが発祥とされている、企業・自治体などの組織が中長期的な課題解決やオープンイノベーションによる創造を目指し、様々な関係者を幅広く集め、未来志向の対話を通じて新たなアイデアや問題の解決手段を見つけ出し、相互協力の下で実践する取り組みのこと。
 嬉野市では、令和3年10月に「HAPPY TOGETHER PROJECT」として、市内外のまちづくりに奮闘する女性プレイヤーや女子野球日本代表選手などを集めフューチャーセンターの手法を一部活用してトークセッションを実施したが、これの常設化を目指すもの。

歳入 地方創生推進交付金(1/2) 4,000,000円

【様式1】

令和4年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	生活のしづらさなどに関する調査			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	③障がい者			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	19	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

厚生労働省が5年に1度実施している調査で、調査対象者は障害者(児)や難病等患者、その他慢性疾患等により生活のしづらさが生じている方を対象とし、そういった方々の生活実態と支援ニーズを把握することを目的として実施される。

2. 事業内容

厚生労働省が選定した5,363箇所の調査地区の内、嬉野市は1箇所(三坂地区の一部、44世帯114人)が該当するので、調査員1名を任命し調査票の配布と回収を依頼する。

3. 全体計画		事業期間		令和 年度 ~ 令和 年度		事業費(千円)	
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容					生活のしづらさなどに関する調査		52
事業費(単位:千円)	補助率						52
財源内訳	国庫支出金	0%					
	県支出金	100%					52
	市債						
	ふるさと応援寄附金						
	その他						
一般財源							

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
報酬	生活のしづらさなどに関する調査 (日当)7,200円×1人×5日=36,000円	36	
需用費	(消耗品費)事務用品	16	
計		52	

5. その他参考となる事項

平成23年から5年度毎に実施されている調査で、令和3年の調査が延期されたため、今年度実施されることとなった。

【様式1】 令和4年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	障がい者施設職員就職支援事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	③障がい者			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	19	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

市内の障がい者施設等に介護職員等として新たに就職した者に対して補助金を交付することで、職員不足を解消し、安定したサービスを提供できるようにする。

2. 事業内容

市内の障がい者施設等に介護職員等として新たに就職した者に対して補助金を交付する。
 対象者：新たに市内の障がい者施設に就職し、2年以上継続する見込みのある者
 補助金額：(市内に住所を有する者) 常勤職員で転入者 20万円・常勤職員で転入者以外 10万円・非常勤職員で転入者 10万円・非常勤職員で転入者以外 5万円
 (市外に住所を有する者) 常勤職員で有資格者 10万円・非常勤職員で有資格者 5万円・常勤職員で無資格者 5万円・非常勤職員で無資格者 25千円
 (資格取得) 10万円を上限としてかかった経費とする(一人1回限り)

3. 全体計画	事業期間	令和 3 年度	～	令和 4 年度	事業費(千円)	3,400
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容			市内障がい者施設等に新たに就職した者に補助金を交付する	市内障がい者施設等に新たに就職した者に補助金を交付する	900	2,500
事業費(単位:千円)	補助率					
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
一般財源			900	2,500		

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	450千円
3月(1号)補正事業費	450千円
9月(5号)補正事業費	1,600千円
(補正財源内訳)	
一般財源	1,600千円
補正後事業費	2,500千円

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内	補助	単独
負担金、補助金及び交付金		
(市内に住所を有する者) 常勤職員で転入者 20万円×1名		200
【今回追加補正】20万円×5名		1,000
常勤職員で転入者以外 10万円×1名		100
【今回追加補正】10万円×4名		400
非常勤職員で転入者 10万円×1名		100
非常勤職員で転入者以外 5万円×1名		50
【今回追加補正】5万円×1名		50
(市外に住所を有する者) 常勤職員で有資格者 10万円×1名		100
【今回追加補正】10万円×1名		100
常勤職員で無資格者 5万円×1名		50
【今回追加補正】5万円×1名		50
非常勤職員で有資格者 5万円×1名		50
【今回追加補正】5万円×1名		50
非常勤職員で無資格者 2.5万円×2名		50
【今回追加補正】2.5万円×-2名		-50
資格取得 10万円を上限とする2名		200
計		2,500

【様式1】

令和4年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 予防費	事業名	新型コロナウイルス対策協力金事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	⑤健康・医療			
実施主体	市	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり課	予算書ページ	21	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルスワクチン接種事業及びコロナ対策に協力した市内医療機関及び薬局に対し人件費等を補うため

2. 事業内容

- ①個別接種協力金 1医療機関 300,000円
- ②薬剤管理協力金 1薬局 200,000円
- ③新型コロナウイルス感染症検査促進事業協力金 1施設 200,000円

3. 全体計画	事業期間	令和4年度	～	令和	年度	事業費(千円)	9,800
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
事業内容					新型コロナウイルス対策協力金事業		
事業費(単位:千円)	補助率					9,800	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金						
	地方創生臨時交付金					8,800	
一般財源					1,000		

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内	容	補助 単独
負担金、補助金及び交付金	個別接種協力医療機関 300,000円×18医療機関=5,400,000円	9,800
	薬剤管理協力薬局 200,000円×17薬局=3,400,000円	
	新型コロナウイルス感染症検査促進事業協力施設	
	200,000円×5施設=1,000,000円	
	計	9,800

5. その他参考となる事項

(補正財源内訳) 県支出金	
地方創生臨時交付金	8,800千円
一般財源	1,000千円

【様式1】 令和4年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	経営発展支援事業(新規就農者育成総合対策)			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業			
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		予算書ページ	22	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、就農後の経営発展のための機械・施設等の導入等を支援する。
 青年等就農計画を作成し認定新規就農者と認定された農業者が、新規に就農を行う際の初期投資費用の負担軽減の為に補助金を交付する。

2. 事業内容

49歳以下で令和4年度に新たに農業経営を開始する認定新規就農者の機械・施設等の導入に対し補助金を交付する。
 (開始型未受給者) 補助対象事業費上限1,000万円 国庫1/2、県費1/4、本人負担1/4
 (開始型受給者) 補助対象事業費上限500万円 国庫1/2、県費1/4、本人負担1/4

3. 全体計画	事業期間	令和 4 年度	～	令和 年度	事業費(千円)	15,000
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容					経営発展支援事業	
事業費(単位:千円)	補助率					15,000
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	1/2,1/4				15,000
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
一般財源						

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内	容	補助 単独
補助金	経営発展支援事業補助金	15,000
	計	15,000

5. その他参考となる事項

○補助金の内訳

事業内容	開始型受給	総事業費	補助対象事業費	補助額	内訳		
					国費1/2	県負担1/4	本人負担1/4
JAハウスリース	無	55,297,000	30,100,322	7,500,000	5,000,000	2,500,000	22,600,322
JAハウスリース	有	80,312,310	54,151,548	3,750,000	2,500,000	1,250,000	50,401,548
JAハウスリース	有	80,287,689	53,809,300	3,750,000	2,500,000	1,250,000	50,059,300

【様式1】

令和4年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	農林水産業費	項	農業費	目	茶業振興費	事業名	環境保全型土づくり推進事業			
総合計画による位置づけ		基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野	①農業			
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課		予算書ページ	22	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

堆肥舎及び有機肥料保管庫設置に係る費用の一部を助成することにより高騰する肥料代負担の軽減と環境に配慮した有機農業の推進を図る。

2. 事業内容

堆肥舎及び有機肥料保管庫設置に係る費用の一部を助成する。

3. 全体計画		事業期間		令和4年度 ~ 令和4年度				事業費(千円)		210	
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				予算額(単位:千円)		
事業内容					環境保全型土づくり推進事業				補助	単独	
事業費(単位:千円)							210				
財源内訳	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	ふるさと応援寄附金										
	その他										
一般財源							210				

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金,補助及び交付金			
補助金	環境保全型土づくり推進事業		210
計			210

5. その他参考となる事項

総事業費:700,000円×1件=700,000円
 補助率:30%
 700,000円×30%=210,000円

【様式1】 **令和4年度** 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	農業基盤整備促進事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		予算書ページ	22	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

生産基盤の整備レベルや事業規模など地域の実情に応じて農地・農業用水利施設の整備を実施し、農家の経営安定および民生安定を図る。

2. 事業内容

冬野地区の農道舗装(5路線)の工事を行う。

3. 全体計画		事業期間 平成 26 年度 ~ 令和 年度		事業費(千円)		
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容		農道舗装1路線	農道舗装2路線	農道舗装3路線 用排水路改修 1ヶ所	農道舗装5路線	
事業費(単位:千円)	補助率	3,215	8,830	10,270	14,191	
財源内訳	国庫支出金	50%	1,550	4,100	4,950	6,450
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他(分担金)	25%	775	2,050	2,475	3,225
一般財源		890	2,680	2,845	4,516	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
工事請負費	農道舗装4路線	9,900	500
	【今回追加補正】県内示増(農道舗装1路線)3,700,000円	3,000	700
負担金、補助及び交付金	(負担金)佐賀県土地改良団体連合会特別賦課金		70
	【今回追加補正】県内示増に伴う賦課金 21,000円		21
計		12,900	1,291

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ
 ・地元要望を受け、県の予算内示が増額されることにより施工箇所を増やし安定した営農を図る。
 [追加路線]黒木西線L=180m、A=540㎡
 当初予算事業費 10,470千円
 6月補正事業費 3,721千円
 (補正財源内訳) 県支出金 1,500千円 ※補助は県を介しての間接補助
 その他 750千円
 一般財源 1,471千円
 補正後事業費 14,191千円

【様式1】

令和4年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	新型コロナウイルス感染症緊急対策事業(経済活性化事業)			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	③商工業			
実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書ページ	24	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

長引く新型コロナウイルス感染症による影響に加え、物価高騰により更なる消費の冷え込みが懸念される中、全市民を対象として「うれしかーど」ポイントを交付することで、市内での消費活動を促し、市内経済の活性化を図る。
さらにマイナンバーカード取得済み、または新たに取得する市民に対し、「うれしかーど」のポイントを上乘せして交付することにより、市民のマイナンバーカード取得率向上を図る。

2. 事業内容

- 令和4年10月1日現在で嬉野市内に住民登録がある者を対象として、3,000円分の「うれしかーど」ポイント交付。
- さらにマイナンバーカード取得済み、または新たに令和5年1月31日までに取得する方(令和4年12月28日までに申請)を対象に5,000円分のポイントを上乘せして交付。
ただし、令和4年4月1日現在で15歳未満の者(中学生以下)については、その保護者にポイントの交付を行う。

3. 全体計画		事業期間 令和4年度～令和4年度				事業費(千円)	4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		内	容	補助	単独	
事業内容				ポイント付与による経済活性化	171,000	負担金、補助及び交付金	経済活性化事業	171,000		
事業費(単位:千円)				171,000						
財源内訳	国庫支出金									
	県支出金									
	市債									
	ふるさと応援寄附金									
	地方創生臨時交付金				135,000					
一般財源				36,000						
						計		171,000		

5. その他参考となる事項

(歳出)

うれしかーどポイント交付額	157,647千円
システム改修費	2,000千円
ポイント利用促進費(スタンプラリー実施等)	2,000千円
パンフレット等制作費	800千円
事務費(郵送料、消耗品費、印刷費 ほか)	8,553千円
計	171,000千円

《ポイント交付額内訳》

・3,000円×25,144人＝75,432,000円 (R4.7.31現在人口)
 ・5,000円×16,443人＝82,215,000円 (マイナンバーカード取得見込み数)
 計 157,647,000円

(歳入)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 135,000千円

